

北海道鹿追高等学校 道徳教育の全体計画

【北海道教育推進計画】
<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs・ESDの推進 ○道徳教育の充実 ○ふるさと教育の充実 ○グローバル人材の育成 ○キャリア教育の充実 ○いじめ防止の取り組みの充実 ○学びのセーフティネットの構築 ○芸術文化活動の推進

【学校教育目標】
<ol style="list-style-type: none"> (1) 主体的に探究し協働し課題解決に取り組む態度と力を身に付ける。 (2) 自らを省察し誠実に改善に取り組む態度と力を身に付ける。 (3) 自他の生命尊重とともに心豊かな人間性を育み、健全な心身を育成する。

【関係法規等】
<ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○いじめ防止対策推進法 ○高等学校学習指導要領解説、総則編 ○いじめの防止等のための基本的な方針 ○高等学校教育課程編成・実施の手引

【保護者の声】
<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解・多様性の需要 多様性を認め合う力を育ててほしい。地域交流で視野が広がっている。 ・いじめ防止 いじめ対応の情報を保護者にも提示してほしい。いじめ防止に熱心で安心できる。 ・規律ある生活 生活態度の乱れが気になっている。礼儀や生活習慣の成長を感じる。

【道徳教育の重点目標】
<ol style="list-style-type: none"> (1) 望ましい生活習慣を身につけ、自己の理想の実現に粘り強く取り組む生徒を育成する。 (2) 自他の生命・人格を尊重し、正義を重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める生徒を育成する。 (3) 広い視野を持ち、歴史的風土や伝統文化の特性を生かしながら、人類の幸福に貢献する生徒を育成する。

【生徒の実態】
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね規範意識は身につけている一方、時間厳守や身だしなみ等、基本的な生活習慣の面で改善を要する。 ・SNSの利用や日常の言動が意図とは異なる形で伝わり、誤解が生じることで人間関係に影響を及ぼす場合がある。 ・多様な地域からの生徒が在籍するようになり、新たな価値観や考え方に触れる機会が増えている。

各学年の重点目標		
1 学年	2 学年	3 学年
<ol style="list-style-type: none"> ① 学習に主体的に取り組む姿勢を育む。 ② 基本的な生活習慣や高校生としてふさわしいルールやマナーを定着させ、自己管理能力の育成をはかる。 ③ 学校活動の成果をもとに希望する進路に向けての理解を深め、主体的に取り組む姿勢・能力を養う。 ④ 集団生活の中で自らの役割や責任を理解し、自主的に行動できる力を育てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業や家庭学習に主体的に取り組む姿勢を育む。 ② 状況に応じた適切な自己指導をできるようにする。 ③ 自己の適性および関心事項を把握し、キャリアについて考えさせる。 ④ 行事や委員会活動において、集団の課題解決に向けた役割を主体的に担わせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自ら課題を見つけ、計画・実行できる生徒を育てる。 ② 基本的な生活習慣を身につけさせ、社会人としての基礎を養う。 ③ 進路目標実現のために必要なこと、実現後に必要になることを意識させ、それに向けて主体的に取り組ませる。 ④ 集団生活の中で自らの果たすべき役割を意識し、自主的に行動できる力を育てる。

【各教科】	
国語	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、価値を他人と深め合いながら、心情を豊かにする。
地歴	世界や日本における、各地域の自然・生活・文化の特色や歴史的過程などについて考える力を養い、よりよい社会を作っていくことのできる人間としての資質を高める。
公民	現代社会の諸課題について理解を深め、公正な判断ができる力を養うとともに、先哲の思想を学ぶことなどを通して、人間としての倫理観を育てる。
数学	基本的な概念や原理・法則を理解することで、実社会を支える数学の役割を理解するとともに、数学的な見方や考え方を積極的に活用する態度を育てる。
理科	自然の事物・現象に対する関心や探求心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。
保健体育	健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して生涯に渡って豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度、集団行動から公正・協力・責任・参画などに対する意欲・態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して生涯にわたり、芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。
外国語	国際化が進化する状況の中、異文化理解のもと、異文化の人々と協働して生きていくためのコミュニケーション能力養成を基に、今日の環境問題を世界共通課題としてとらえ、異文化の人々と協力して問題解決を図ろうとする態度を養う。
家庭	家族と社会の関わりを理解し、協力して家庭や地域の生活向上・充実を図る能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報を利用するにあたり、基礎的な知識および情報を利用する技術・マナー・モラルを考え、実社会でのものの見方や考え方を養う。

【特別活動】	
HR活動	様々な活動をとらえて、HR集団において望ましい人間関係を確立し、集団の一員としてのあり方を考え、責任を果たすことの大切さを理解し、諸問題に主体的に取り組む態度を育てる。
生徒会活動	自発的・自立的な活動を通して自主性や社会性を身につけ、進んで学校生活の充実や改善を図ろうとする態度を育てる。また、学校行事や地域社会での活動を通して愛校心や郷土愛を養う。
学校行事	様々な学校行事を通して社会性を育て、ルールやマナーなど集団生活や社会生活に必要な態度や行動様式を身につけさせ、他者を尊重する態度を養う。
部活動	体力の向上ばかりではなく、精神的にも強い意志のある人間を育成するとともに、集団としての規律や礼儀を学ぶことにより集団への帰属感や連帯感を深め、社会性を養う。

【総合的な探究の時間】
<p>国際理解教育や地域を学びの舞台として、自ら課題を見つけ、主体的、創造的、協働的に問題を解決する資質や能力を育成する。また、自己の在り方や生き方を考え、他者との調和の中で自己実現できる力を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 知識及び技能 自国や他国の文化・歴史や地域課題について学び、国際理解を深め、物事を多面的・批判的に見極められる力を育成する。 2 思考力、判断力、表現力等 情報を収集、分析し、課題を見つけ、問題を解決する力を育成する。また、発表を繰り返すことにより、パフォーマンス能力を育成する。 3 学びに向かう力、人間性等 自国や他国の文化や資源を尊重しようとする態度を養う。

家庭・地域社会との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方々との学校行事への参加を呼びかけ、開かれた学校作りを実践する。 ・地域企業と連携してインターンシップを実施し、適切な職業感の育成を図る。 ・中高一貫教育により生徒指導、進路指導、部活動において連携した指導を行う。 ・学校運営協議会において、地域の実態や保護者の願いに関する意見を聴取し、地域人材の活用や体験活動の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となった道徳教育を推進する。